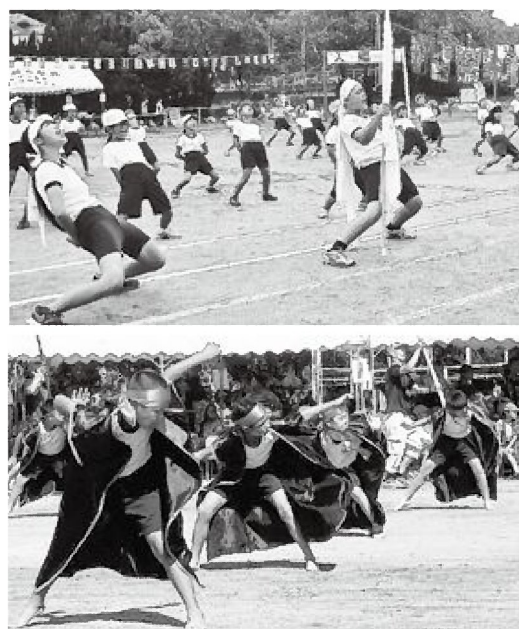


9月定例会は8月30日から9月21日までの23日間の会期で開催されました。

▶ トピックス

- ① 議会定数25名に決定！ ② 蒲江振興局建て替え！ ③ 豊寿苑の指定管理に待った！



写真は名護屋小学校の運動会の様子

★市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。

★市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。

議員定数26名から25名へ!!

4常任委員会から3常任委員会へ!!

議会改革調査特別委員会（井上清三委員長）は、議員定数を25名に、常任委員会を3常任委員会に変更する旨の条例改正案を上程、賛成多数で可決されました。

改正のポイント

議案審査において関連性が深い建設、経済産業常任委員会を統合し、新たに建設経済常任委員会とする。1委員会あたりの定数を増員し委員会審査における議論、質疑の活性化を図る。委員会至上主義の観点より委員会定数を議員定数の根拠としている。

現
行

総務常任委員会（7名）
建設常任委員会（6名）
教育民生常任委員会（7名）
経済産業常任委員会（6名）

改
正
後

総務常任委員会（9名）
建設経済常任委員会（8名）
教育民生常任委員会（8名）

反対討論

3常任委員会とすることに異論はないが、1常任委員会あたり7名とし、議長1名を加え22名の定数が行財政改革の観点からも妥当であると考え反対する。

賛成討論

議員定数の根拠には、財政規模、人口、面積、自治会の数、類似団体との比較など多様な見解がある中で、議会機能の中枢をなす常任委員会の充実を図った結果から導き出される数字が、今あるべき佐伯市議会の定数であると考え賛成する。

まちづくり、これからどうする？ 市政活性化調査特別委員会中間報告

各分科会で、合併10年のまちづくりについて調査を行い、今後のまちづくりについて改善すべき事項について、中間報告を行いました。今後も調査を継続します。

総
分
科
会

非常勤特別職（市営住宅管理人）の報酬額について、各地域での統一性に関し改善の余地があると思われる。

建
分
科
会

①合併協議会建設部会の協議事項について、市民に対し説明が不足しており、事務の整理と市民への周知方法及び活動の検討を要する。
②主要事業実施計画の調査結果から、合併時重点項目とした事業が実施されておらず、今後の地域振興に必要なインフラ整備等の計画や事業箇所の見直しを要する。

教
育
民
生
分
科
会

①し尿くみとり事業補助金及び手数料等の旧佐伯市と旧郡部との格差の是正を図るため、単価の差額に対する均一化の検討を要する。
②就学支援委員会と乳幼児検診を行う健康増進課等、関係各課との連携強化を図るため、特別支援教育支援員の増員等、積極的な予算措置の検討を要する。

経
済
産
業
分
科
会

市町村合併における行財政に対する影響や市民生活への影響についての改善策を、さらに調査・検討していく。

こんなことを審議しました

平成28年 第3回

定例会の概要

9月定例会は、8月30日開会し、予算議案9件、予算外議案25件、諮問6件、専決処分報告2件、委員会提出議案1件、請願1件が上程されました。

9月6日から議案質疑、一般質問が行われ、9日まで18人が質問をしました。

13日には、教育民生、14日には建設、総務各常任委員会が開催され、付託議案等の審査を行いました。

15日には予算特別委員会（河野豊委員長）が一般会計、特別会計、企業会計の各補正予算を審査しました。

つるみ山荘の売却

旧佐伯市つるみ山荘の土地と建物を売却するものです。建物と土地を合わせて以下のとおりです。

売却価格 8010万円
売却先 株式会社ゆふいん花由

契約の締結

宇目地区の防災情報システム

佐伯市防災情報システム整備工事

の契約の締結です。この工事の主なものは、宇目地区の防災情報システムの工事で、親局を始め中継局、屋外拡声子局などを整備します。

契約金額 2億8944万円

契約先

日本無線株式会社大分営業所

防災・行政ラジオシステム

防災・行政ラジオシステム整備工事の工事請負契約の締結は、各キー局に放送設備と希望世帯に防災・行政ラジオを貸与するための契約締結です。

契約金額

4億1750万6400円

契約先

株式会社九電工大分支店



▲本年度から配布予定の防災・行政ラジオ

蒲江振興局庁舎の建て替え

老朽化により、建て替えの要望が地元から出されていた蒲江振興局庁

舎建設の工事契約の締結です。

場所は大字蒲江浦373番地1、消防署蒲江分署の横で、建物自体はコンパクトにまとめられており、1階は事務スペース、2階は会議室などとなっています。

契約金額

2億9041万2000円

契約先

株式会社ヤマト富永工務店

米水津統合小学校校舎大規模改造

旧向陽小学校跡地にコンクリート3階建て校舎と体育館を大規模改造します。

契約金額

2億6609万4000円

契約先

谷川建設工業株式会社



▲大規模改造する校舎の側面図

補正予算

約6億円を追加

平成28年度佐伯市一般会計補正予算は、歳入歳出予算に、それぞれ5億9527万円を追加計上しています。

既決予算と合わせた一般会計予算総額は、453億6304万3000円となります。

その主なものは、約3億円を財政調整基金に積み立てるほか、主なものは以下のとおりです。

● 県施行事業負担金

1842万円

松浦漁港水産物供給基盤機能保全事業などの県に対する負担金の増額

● 西日本B-1グランプリin佐伯実 施事業補助金

848万9000円

シャトルバスや仮設トイレ等の事業費に伴う助成金の増額

● みんなにやさしい歩道整備事業

4600万円

大手前地区周辺の道路整備に係る事業費（市道西谷新屋敷線など）

採決

一般会計及び7特別会計、1企業会計補正予算については、原案のとおり可決しました。

教育民生常任委員会

付託された予算外議案15件、専決処分報告1件及び請願1件、計17件について審査しました。

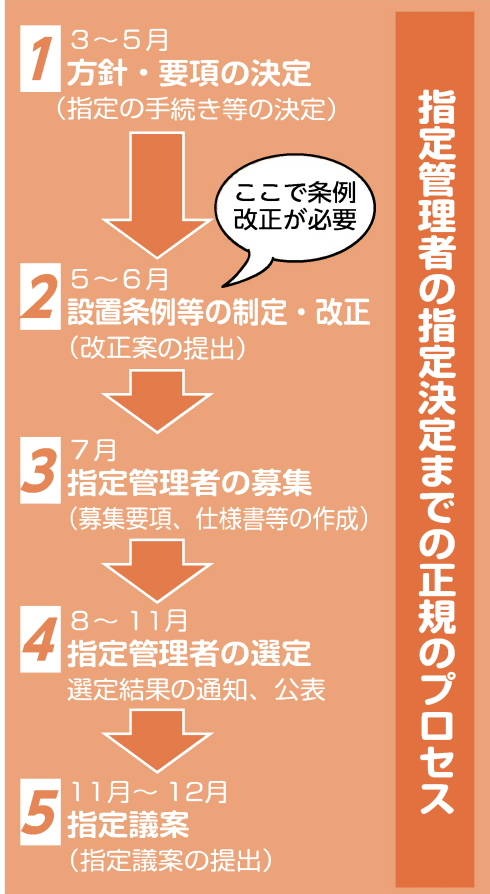
全委員の反対により否決！

議案第94号
佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑（介護老人福祉施設）及び佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑（地域密着型介護老人福祉施設）を併せて管理する指定管理者の指定について

先に条例改正が必要！！

豊寿苑指定管理者公募時に条例改正を怠っていたため全委員が否決！！

執行部 今回の議案では、公募手続において、手続的に先走り、条例に沿っていない募集要項により、公募を行ったこととは、不適切であり、深く陳謝する。しかし、選定の手続及び選定のプロセスに問題はなかったものと考え、提案した。



なぜ？否決なの？

委員 選定された方に対しては何も不備はないと思う。しかし、公募の時点において条例改正がなされてなかったことで反対。
委員 公募手続において、これを放置することは、私たちも条例違反を認めることになるので反対。
委員 条例改正しないままの公募は無効であると思うので反対。
委員 この議案自体、指定管理者が不適切ではなく、スタート時点で間違っていたということ
委員 指定管理募集、佐伯市特別養護老人ホーム条例第6条にも抵触あるいは違反している状況であり、市の規範となる各種規定、行政事務などに大きな影響を及ぼすことになりかねない。自治法においても、市町村は条例に違反して、その事務を処理してはならないとあるので反対

議案第86号、佐伯市特別養護老人ホーム条例の一部改正は、条例改正することなく社会福祉法人以外のその他団体を公募してしまっただけのため委員会としては条例違反として受けとめ、一委員から介護保険法の一部改正のみを生かした修正案が提出され、可決しました。

議案第99号 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑（介護老人福祉施設）及び佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑（地域密着型介護老人福祉施設）を併せて管理する指定管理者の指定について

本会議において、第94号議案が否決されたため、指定管理者となる次点候補者を指針に基づき上程されました。委員会において執行部に対し、現地視察とあわせて資料を要求し、その提出に期間を要するとのことであったため、継続審査とすることに決しました。

〔議案第86号、第94号 議員の表決態度の公表〕

件名	議決結果	賛成 ○	反対 ●	伯 盛 会										新風会			無所属の会		公明党	民主党	無党派	無会派			
				児玉輝彦	芦刈哲也	清田健治	塩田保芳	宮脇幸吉	後藤万平	江藤茂	清家好文	吉良栄三	矢野精幸	矢野幸正	瀧野芳弘	上田徹	御手洗秀光	井上清三	清家儀太郎	三浦涉	浅利美知子	後藤勇人	河野元	佐藤豊	高司政文
議案第86号修正案 佐伯市特別養護老人ホーム条例の一部改正について	修正案可決	23	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号修正部分を除く原案 佐伯市特別養護老人ホーム条例の一部改正について	原案可決	23	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑（介護老人福祉施設）及び佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑（地域密着型介護老人福祉施設）を併せて管理する指定管理者の指定について	原案否決	0	23	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※議長（井野上準）は、通常の過半数議決には表決権がありません。 ※無所属の会：佐伯を元気にする無所属の会

佐伯市公民館条例の一部改正について

佐伯市蒲江地区公民館蒲江分館を廃止するため改正するものです。

診療所 児童クラブ 指定管理者決定！

西野浦診療所と名護屋出張診療所の管理者指定については、二つの施設を一緒に指定管理することにより安定的に運営を行うことができることから、社会医療法人長門莫記念会が選定されました。児童クラブにおいては、左表のとおり選定されました。

各施設の指定管理者の指定

H29年4月1日から

施設名	指定管理者
ひがしなかよしクラブ	ひがしなかよしクラブ運営委員会
星の子児童クラブ	星の子児童クラブ運営委員会
下堅田児童クラブ	下堅田児童クラブ運営委員会
海の子児童クラブ	海の子児童クラブ運営委員会
佐伯市国民健康保険西野浦診療所	社会医療法人長門莫記念会
佐伯市国民健康保険名護屋出張診療所	

総務常任委員会

付託された予算外議案8件について審査し、すべて可決すべきものと決しました。

佐伯市情報ネットワーク施設条例の一部改正について

告知放送端末機による電話サービスの終了！

平成29年度に市内各戸へ防災・行政ラジオを配布することに伴い、市内6地区（上浦、弥生、本匠、鶴見、米水津、蒲江）において整備されている電話サービス（告知放送端末機及び電話機）を平成28年度末に廃止しようとするものです。
質疑 防災・行政ラジオの配布希望募集の時期及び配布時期は。
答弁 全戸に対し、平成28年12月から2か月間の募集期間を設け、平成29年5月から順次設置していく。
質疑 取り付けが困難な高齢者世帯などへの対応は。
答弁 業者による取り付けを希望する世帯に対しては、委託業者が設置する予定である。

佐伯市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

消防団員の減少止まらず！

近年の人口減少や社会環境の変化に伴い、団員の減少が進み、昨年度から条例定数に対する団員数の充足率が90%を割る状況となつています。その状況を鑑み、条例の消防団員の定数2080人を1880人に変更しようとするものです。

建設常任委員会

付託された予算外議案2件、専決処分の報告1件、計3件について審査し、すべて可決すべきものと決しました。

市道路線の認定について

大手前基本計画で定められた新たな市道

佐伯市大手前3丁目の大手前新小路線は、大手前開発に伴い、新たに市道として開設するものです。路線延長89m、幅員は10mから28・5mです。

質疑 排水対策は。
答弁 道路排水対策は道路の詳細設計の中で検討する。また、下水道課

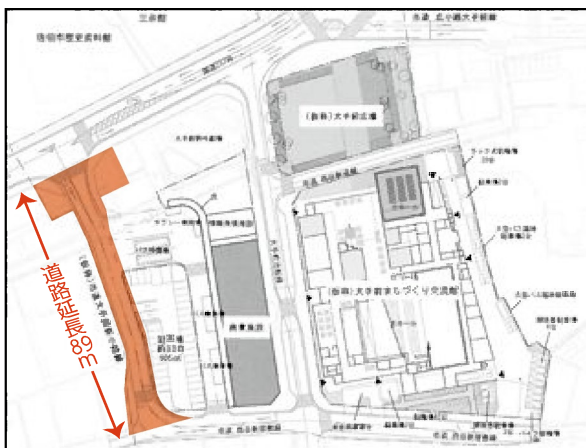
と詳細に打ち合わせを行い決めた。い。
質疑 新規の路線ができることについて近隣住民の理解は得ているのか。

答弁 今年度、3回の地元説明会を行ったが、計画に対する不安等は出ていない。

質疑 道路予定区画について、地権者との交渉状況、買収金額は。
答弁 すでに大半は買収済みだが、まだ305・63mの交渉が残っているため、買収金額は言えない。

質疑 工事予算額は。
答弁 工事費の概算は、4000万円を予定している。

◀新路線を含む大手前開発計画図



継続審査に決定！

佐伯市放課後児童クラブ条例の一部改正を求める請願

教育民生常任委員会（審査）

請願者の趣旨説明（佐伯市PTA連合会会長、坂本晃彦参考人）

放課後児童クラブの土曜預かりの開始時刻を全市、全地域において、午前8時に統一することで、働く親が佐伯市内どこに居住しようとも、安心して、仕事と子育てが両立できるようにする。本請願が採択されることにより、受入れ側の職員の負担は増すが、佐伯市においては、その負担に見合った予算措置をお願いしたい。放課後児童クラブの必要性は今後も増す一方である。利用者のニーズと受入れ側の労働環境の諸問題、親の子育てに関する義務感や地域との関わりなどを議論していただき、本請願が採択されることを希望する。

執行部の意見

本市には放課後児童クラブが22クラブあり、そのうち土曜日または長期休暇中において、開始時間が午前8時以前からのクラブが16クラブ、午前8時15分からのクラブが1クラブ

プ、午前8時30分からのクラブが5クラブという状況である。現在の条例では午前8時30分を基本としているが、指定管理者の裁量でその変更が可能となっており、できる範囲で保護者の要望に応えながら、運営を行っている。このような現状で条例改正は難しいと考えている。

質疑応答

質疑 勤務時間が午前8時からになれば勤務時間の延長など労働基準法には問題ないのか。

答弁 8時間を超えるとローテーションを組むなどで対応をしており、人員配置の必要性が生じる。

質疑 職員を増やすことによる指定管理者の費用負担や利用者等の影響について。

答弁 時間を延ばしたり早めたりすることによって、賃金等と職員の確保が問題である。

動議

一委員から継続審査に付す旨の動議が出されました。その理由は、条例改正になれば各クラブに対する制約もあり、執行部の予算措置などの問題がある。委員会としても、まだ調査の必要性があり、結論を出すのは、困難であるというものです。

委員会採決

挙手採決の結果、継続審査とすべきものと決しました。

本会議採決

起立採決の結果、継続審査することに決しました。

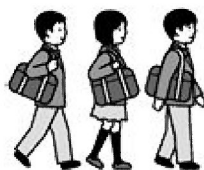
意見書提出

9月定例会において、次の意見書を可決し、関係機関に送付しました。

●返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

趣旨

奨学金制度は、授業料が高止まりしていることなどが背景となっており、利用者は2016年度大学生らの約4割に当たる132万人と増加傾向にある一方、非正規雇用などによって卒業後の収入が安定せず、奨学金の返済に悩む人が少なくない。学生が安心して勉学に励めるよう、返済不要の「給付型奨学金」の創設や無利子奨学金の拡充など具体的な経済支援策として取り組むことを強く求める。



【議員の表決態度の公表】※賛否が分かれた議案等について掲載しています。

件名	議決結果	議員氏名																								
		伯盛会					新風会					無所属の会		公明党	自民党	無会派										
	賛成 ○	反対 ●	児玉輝彦	声刈紀生	清田健也	塩月健治	宮脇保芳	後藤健吉	富松万平	江藤好茂	清家栄文	矢野幸三	矢野幸正	野野芳弘	上田秀光	御手洗儀太郎	清家儀太郎	井上清三	三浦清三	浅利美知子	後藤勇人	河野豊	佐藤元	高司政文	井野上準	
委員会提出議案第5号 佐伯市議会議員定数条例及び佐伯市議会委員会条例の一部改正について	原可 案決	22 : 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑（介護老人福祉施設）及び佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑（地域密着型介護老人福祉施設）を併せて管理する指定管理者の指定について	原可 案決	17 : 6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（井野上準）は、通常の過半数議決には表決権がありません。 ※無所属の会：佐伯を元気にする無所属の会

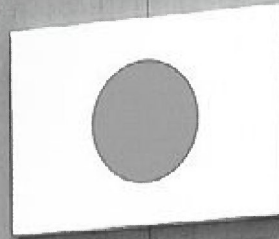
一般質問

9月6日、7日、8日、9日

※一般質問の掲載について

一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問の掲載順序は紙面の都合上、質問順とは異なります。



質問者	質問の要旨
御手洗秀光	・子どもの貧困対策について ・備蓄倉庫の設置について
清家儀太郎	・地域おこし協力隊設置事業について
後藤勇人	・LGBT(性的少数者)について ・安全・安心のまちづくりについて
清家好文	・土地開発公社と青果卸売市場について
清田哲也	・中小企業活性化のための具体的施策について ・市有ケーブルテレビ施設の維持管理について
佐藤元	・自治組織について
上田徹	・本人通知制度の現状について ・在住外国人による「佐伯市の魅力再発見」の取組について ・祖母嶺山系周辺地域のユネスコエコパークについて
濱野芳弘	・水産資源の活用による地域振興について ・定住促進について
河野豊	・女島埠頭の利活用について ・50年先の名所作り（番匠川の桜並木）について ・スポーツ振興（キャンプ等の誘致）について
矢野幸正	・地籍調査事業について ・宇目（千束・小野市）さとやま公園について
浅利美知子	・がん予防について ・B型肝炎ワクチンについて ・食品ロス削減に向けての取組について
吉良栄三	・6次産業化の取組について ・木育の推進について
井上清三	・福祉政策について ・コミュニティ交通について
高司政文	・地域創生への支援について ・介護保険制度について
芦刈紀生	・山間部の振興について
富松万平	・マイナンバーカードによる諸証明の交付について
後藤幸吉	・市長の政治方針とまちづくりについて
三浦涉	・番匠川河口橋について ・大手前開発事業について ・佐伯市土地開発公社について



子どもの貧困対策は？

御手洗 秀光

問 本市における子どもの貧困率についての実態調査を行い、状況を把握する必要があるのではないかと？

答 子どもの貧困対策は重要な課題と考えているが、現在、子どもの貧困率の調査は実施していない。今後、国・県と連携しながら子どもの貧困率の実態把握について調査・研究をしていきたい。

問 本市が実施している対策は？

答 「教育の支援」として、就学援助及び奨学金貸付。「生活の支援」として、生活保護、母子父子自立支援員による相談援助。「保護者に対する就労支援」として、自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進費。「経済的支援」として、児童手当、児童扶養手当、特別児童手当、ひとり親家庭医療費、さいきつ子医療費助成事業、母子父子及び寡夫福祉資金の貸付、母子及び寡夫世帯小口資金の貸付、保育料の減免措置などがある。相対的には、子どもの貧困対策となっていると判断している。今後とも県と連携を取りながら、子どもの貧困対策に取り組んでいきたい。



地域おこし協力隊 設置事業について

清家 儀太郎

問 地域おこし協力隊は佐伯市の創生にどのような役割を果たしていると考えるか？

答 地域おこし協力隊設置事業は地方創生対策事業の重要な政策として位置づけているが、本市が本格的に導入したのは昨年10月からで、それぞれの隊員が十分に力を発揮するところまでいっていない。今後、本市が取り組んでいる地域づくりの一つの核となってくると期待している。

問 地域おこし協力隊の今後の活躍について専門分野での採用は考えていないのか？

答 それぞれの所属先が求める活動内容・資格やスキルを募集要項に掲げ、採用している。必ずしも完全にマッチングするものではないが、ベターな人材が確保できていると考えている。地域や各部課が地域振興のために活用したいとの希望があれば、必要な資格やスキルを聞き取りながら、採用したい。状況によっては、専門分野といった部分を視野に入れて検討していく。



差別のないまちに！

後藤 勇人

問 各種申請書類の中で性別の記入に関し、LGBT(性的少数者)への配慮はされているか？

答 申請の内容によって事情が異なるようだが、LGBTへの配慮について確認できていない。ただ、社会情勢の変化による全国的な流れがあるので、LGBTへの配慮については、これから全庁的に検討していく。

問 市民相談の窓口でLGBTの相談に応じることができるのか？

答 具体的な相談については、現時点で把握できていない。相談内容、申請内容にもよるが、一般的に法務局等関係機関と連携して対応していく。

問 相談職員に対しLGBTに関する研修は実施しているか？

答 人権・同和対策連絡協議会、部落解放同盟が主催する講座や研修会に参加し、その中で知識の習得に努めている。また、市独自の取り組みとして、人権市民講座を年8回実施している。LGBTに特化した講座はないが、現在までに実施した3回の講座で、LGBTに関する人権問題が一つのテーマとして取り上げられた。



青果卸売市場について

清家好文

問

市場の名称、事務所及び組合員等の組織構成は、どのようになっているのか。

答

市場の名称は、「地方卸売市場佐伯青果市場」とし、佐伯青果卸売市場協同組合が市場開設者として新統合市場の建設を行い、現在の3青果市場が中心となって新たに作る新会社が、新青果市場の卸業者となる予定である。

新卸売会社の事務所については、新設される市場内に置くこととなる。

市場開設者である佐伯青果卸売市場協同組合については、組合設立に必要な発起人4名で組織されている。また、新卸売会社については、3青果市場の協議により設立の準備を進めている状況で、現在株主は確定していない。



中小企業活性化 待ったなし!!

清田哲也

問

ふるさと納税制度に、振興局ごとの指定寄附枠を設け、振興局の自主財源とし、振興局ごとの地元産品を返礼品とすることで地域ごとの農林水産業、商工業の活性化を図ることはできないか。

答

現在は、6つの分野で寄附金の使途を選択できるようにしている。昨年度実績から推測すると、本市に縁やゆかりのある方からの寄附は全体の約5%と見込んでおり、その他の割合が圧倒的に高いのが現状である。さらに申し込み方法においても、95%がインターネットを利用しての申し込みとなっており、このような寄附者の現状を考慮すると、振興局ごとの指定寄附の枠を設けても、十分な実績を達成するのは困難であると推測される。さらに、合併して12年が経過し、旧佐伯、旧南郡の垣根もとれ、ようやく一つの佐伯市としての気運が高まってきている中で、旧町村単位での指定寄附制度は新たなあつれきを生む可能性も否定できない。

しかしながら、議員が提案する趣旨や思いについては、十分に理解ができるので、今後の寄附額の増加について職員一丸となって取り組んでいきたい。また、他自治体の実例も参考としながら、引き続き研究を進めていく。



自治組織について

佐藤元

問

各区の清掃活動については、行政が行うべきで、高齢化が進み、人口減少が著しい現在では、業界団体等に委託した方が、効率もよいのではないか。

答

市道の側溝の泥上げ、草刈り清掃等については、管理者である行政が行うものであるが、大部分を地区の皆さんにお願いしているのが現状である。今年度は、高齢化が進んでいる一部地区を中心に草刈りを業者へ委託している。

問

自治委員会費の補助金と交付金については各区に公正・公平に分けることはできないか。

答

自治活動交付金と自治委員報酬については、均等割と世帯数割を行っている。それぞれの補助金・報酬は、目的と性質が異なるため、一括して分配することは困難である。

問

各区での負担が増えており、区費の高騰が生じているが、行政として何か対策を考えているのか。

答

各区の区費については、区ごとに自主的に対応されているので、特に市としては関与できないが、地区集会所建設費等補助金については要綱の見直しを進めている。



佐伯の魅力再発見・再発信の取り組みを！

上田 徹

問 現在、佐伯市に居住している外国人はどのくらいいるのか。

答 平成28年7月末時点で323人、国籍の多い順ではフィリピン・中華人民共和国・ベトナム・韓国となっており、全体の88%を占めている。

問 在住外国人の方たちによる、地元の人間ではなかなか気がつかない「佐伯の魅力再発見・再発信」の取り組みについてどう考えているのか。

答 インバウンド推進の観点からも、効果が期待できると思っている。一方で、効果的な情報発信を行うためには、個人の資質等が必要であり、主要ターゲットとなる国がある程度絞り込むことも必要と考えている。

問 財政的にも多くを必要とせず、人の力を活用していく「佐伯の魅力再発見・再発信」の事業化について、今後検討していく考えはないか。

答 今後、組織作り等については、研究していく。



伊勢海老やカニなどの住み家の造成を

濱野 芳弘

問 伊勢海老の増殖、育成を問う。

答 伊勢海老の増殖礁は、蒲江名護屋地先において大分県が試験礁6基を設置し、現在、効果調査を行っている。今後は、得られたデータを基に有効性を検討し、水産基盤整備事業化をめざすとのことである。市としても協力して事業化を推進していく。

問 また近年、研究によって伊勢海老の稚えびは、ホンダワラ等が繁殖する藻場で育つことがわかってきたので、藻場の回復を図っていく。

答 伊勢海老だけでなく、カニやウニなどの住み家も大切である。護岸工事をする場合は住み家などを造る考えはないか。

答 伊勢海老、カニ、貝類等の磯根資源は沿岸の岩礁域に生息している。佐伯市では、岩礁域を増やし、藻場や磯根資源の増殖を図るため、漁村再生交付金で増殖場の造成を行っている。実施期間は平成25年度から平成31年度で総事業費は1億5000万円である。上浦工区4区と鶴見工区1区の5工区で、投石、ブロッタの設置を行い、計1万㎡の増殖場を造成する見込みである。



女島埠頭の活用について

河野 豊

問 取扱貨物量の状況を問う。

答 平成26年度が17万2822トン、平成27年度は15万3895トンとなっており、平成7年のピーク時の1割で、県内に5か所ある重要港湾の中で最下位という厳しい現状である。今年秋からのPKS輸入に期待しているが、更なる取扱量の拡大を図る必要がある。国・県・会議所・地元企業・漁協等と組織している「佐伯港総合開発促進協議会」にポートセールス部会を設けて取り組んでいる。

問 クルーズ船寄港促進期成会（仮称）等の組織を立ち上げることを提案するが、市の見解を問う。

答 新たな人の流れを期待できるクルーズ船等の着岸をも視野に入れ、着岸するための設備や荷重の問題、乗船客への観光案内やおもてなし等、専門部会を設けて調査研究を進めていくとともに、寄港促進期成会（仮称）の立ち上げについても前向きに検討していく。



宇目(千束・小野市) さとやま公園について

矢野 幸正

問

旧宇目町の時代に、里山の保全と広葉樹等を植栽し景観整備等を目的とし計画地域の民有林(土地を含む)を購入。千束地域9・3haは森林空間総合整備事業、小野市地域10・8haは生活環境保全林整備事業の補助事業によつて整備された。事業完了後15年近くが経過し、植栽された樹木は成長し、紅葉シーズンには、里山全体が色づき、初期の目的が達成されつつある。両さとやま公園は佐伯市民の共有の財産である。来年度の登録を目指している祖母・傾・大崩山系ユネスコエコパークは、国内推薦が決定し、期待度は高まっている。そのユネスコエコパークの移行地域にゾーニングされる千束・小野市さとやま公園の委託料の見直しと両公園の集落に接している部分の伐採等の環境整備について問う。

答

財政事情の厳しさから、現時点では現状維持をお願いしたい。また、両さとやま公園で集落に接している部分については、地区要望の部分と併せて早急に調査し対応したい。



B型肝炎ワクチン 予防接種について

浅利 美知子

問

B型肝炎ウイルスによる肝硬変や肝がんは、子どもの時、それも3歳までに感染したものだとも言われており、公明党は、定期接種の実現を国会で主張してきた。今年10月から0歳児を対象に定期接種となるが、対象者への周知方法は。

答

市報10月1日号とケーブルテレビで広報する。また、個別に案内と接種記録カードを送付する。

問

定期接種の対象者は、平成28年4月1日以降に生まれた乳児で、期間は誕生日前日までとなっている。実施が10月からのため、4月から9月生の乳児は接種期間が短く、体調によつては、接種できないことも考えられる。今回に限り、1歳の誕生日を過ぎても公費助成の対象にできないか。

答

4月から9月生まれの乳児は、平成29年9月末日まで期間を延長し、公費助成としたい。

問

日本小児感染症学会の集団保育における感染対策は論文によると、「唾液、汗、尿、涙からも感染の可能性があり、3歳未満児は90%がキャリア化しやすくなる」とある。3歳未満児に対しては本市独自の助成はできないか。

答

今回は、1歳未満児を対象としているので、国の基準に基づき、実施していきたい。



地場産業の 6次産業化への展望は

吉良 栄三

問

本市における6次産業化に向けた現在の取り組み実績は。

答

平成27年度にトラフグ養殖業者が加工品を製造する機械の設置について、国の補助事業を活用して整備しており、今年度はマグロ養殖業者が国の補助事業を活用し、養殖マグロのブロック加工生産を行う専用施設を整備する予定となっている。

問

農業分野では6次産業化に向けた取り組みはないのか。

答

農業分野の取り組みはない。

問

6次産業化に向けた今後の推進計画や構想等はあるのか。

答

今年度から佐伯市ブランド流通促進協議会の委員に、大分県産業構造機構や中小企業団体中央会及び百貨店の方に加わってもらっており、6次産業化に伴う組織化、商品開発支援や販売先の紹介、また、補助事業の情報提供や相談窓口の斡旋など、サポート支援体制の裾野が広がることなどが期待できる。また、産業支援に係る仕組み作りも始まっており、連携・支援体制の充実により、6次産業化の拡大に向けた推進を図る計画となっている。



介護殺人について

井上 清三

問

老老介護は、介護者の身体的・精神的な負担がかかり、介護者にとって大変なストレスで共倒れや外出ができなく、家に閉じこもりとなる。人間関係が希薄になり、困ったことでも外にSOSが発信できず、死活問題ともなる厳しい状況である。また老障介護は、親も高齢で介護の不安を抱えながら、障がいのある子どもを介護する。親はその子を看取ってから死にたいと願うなど悲しい現実が生じている。老老介護、老障介護の厳しさ、つまり在宅の要介護者の介護現場は大変である。特に認知症状を持つ方には、寝る間もなく見守り・介護を行う。その状態が1年も続くと身体的・精神的に耐えられず、身体拘束・虐待につながり、悲劇的な事件となり、NHKでも放映された「介護殺人」につながっていく。まさに身震いするような言葉であるが、その起こる要因として「介護疲れ」「ストレス」など介護負担である。このような悲惨な事件・悲劇を起こさないための取り組みが急務だと痛感している。「介護殺人」に対する支援策を問う。

答

地域ケアシステムを構築し、住み慣れた地域で、民生委員等の力を借り、市民相互支援の見守りができる体制を構築し、介護疲れの軽減を図り「介護殺人」の防止策にする。



佐伯市地域支援事業 交付金について

高司 政文

問

交付金の使途は、予算特別委員会の中で執行部が答弁した「地域課題の解決のノウハウ」「人材確保」「仕組みづくり」等と照らして適切であると認識しているのか。

答

同委員会の中では、「限定したものではない」「地域創生を地域自ら考え自ら行う種火」とも答弁しており、新規に地域づくりに取り組む起爆剤の役割は果たしていると認識している。しかし、十分であるとは言えないので、今年度実績報告をもらい、よりよい事業構築ができるよう努力していく。

問

地域創生の課題について、地域からは財源面はもちろんだが、それ以上に職員数、人材の確保が必要だという声もある。市としての課題認識及び改善策を改めて問う。

答

人材育成が重要であり、官民間わず専門性を持った人材の招へい等人材育成、確保に力を入れていく。また職員数については多様化する行政ニーズに対応できる柔軟な組織体制をつくり、適切な職員配置を行う。

問

振興局の人事では、地域振興に3年から5年かけて取り組めるよう配慮できないか。

答

振興局のあり方を含め、人数、資質など議員の提言を踏まえ人事異動をやっていく。



山間部の振興について

芦刈 紀生

問

高速道路が開通し、佐伯延岡間が無料となり、山間部の道路の通行量が激減、店舗等が閉店し疲弊してきている中、直川から佐伯堅田インターチェンジに向けてのアクセス道を要望しているがその考えはないか。

答

佐伯堅田インターチェンジから直川に向けての要望については、農道や林道整備場として立ち上げるには、現在の農林業を取り巻く情勢を考慮しても、また、国庫補助事業の事業採択にしても費用対効果の算出についても困難であると予想されるため現時点では厳しい状況である。

市としては、広域的に道路網の再構築を考えた。

問

人口減少に歯止めをかけるため、山間部には企業誘致の用地を用意しているが進捗は。

答

直川の水口、本匠の三股、ともに1万㎡の用地を現在企業には紹介している。宇目の重岡小学校跡地は、建物の解体を考慮し、活用策の検討をしたい。



郵便局でも諸証明の 交付サービスを！

富松 万平

問 マイナンバーカードによる証明書のコンビニ交付サービスの概要について問う。

答 コンビニに設置されているキオスク端末で住民票や印鑑証明を交付するものである。時間は、年末年始を除き午前6時30分から午後11時までで、セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの3事業者と提携し、全国4万5000店舗で交付可能である。

問 コンビニ交付の実現により、市内中心部の利便性は今後ますます向上する。対して市内周辺部の不便を解消するという点を考え、宇目郵便局と木浦郵便局で行っている自治体窓口証明発行システムでの証明書交付を市内全域の郵便局でできないか。

答 制度上は可能だが、全郵便局となると経費等の問題もあり現時点では極めて難しい。全国的な高齢化に対応するためにも、郵便局にキオスク端末を設置するように国に要望すべきではないか。

答 国においても、行政キオスク端末のサービスや設置事業者の拡大について、検討されているとの情報もある。国の動向を注視しながら、まずは大分県戸籍住民基本台帳事務協議会などに提案していきたい。



大手前開発について

後藤 幸吉

問 大手前開発について、地元地権者との合意はできているのか。また、商業エリアにはどんな業種が入るのか。

答 5月末から本格的な用地買収協議を始め、8割の地権者と契約締結した。商業エリアは地元事業者らでつくる分科会で既存店舗の移転再築や新たな民間施設建築、入居業種などを検討中である。



▲模型を用いた大手前開発のイメージ



番匠川河口橋について

三浦 渉

問 番匠川河口橋の建設に向けた進捗状況は。また、河口橋は合併時の合意案件ではなかったのか問う。

答 梶寄浦佐伯線の灘工区や吹浦工区の現道整備が早期に完成するように、県に協力していく。河口橋についても、引き続き期成会と協力しながら、県に対して要望していきたいと考えている。

問 番匠川河口橋は、合併時の合意案件であり、旧鶴見町と旧佐伯市が手を結んだ継続事業ではないのか。合併して新規事業と捉えているのか。

答 継続事業として捉えている。

問 県や国に11年も陳情・要望しながら、1円の調査費もつかないということは、事業が打ち切られたのか。

答 合併事項ということで、毎年要望している。平成22年には合併支援道路の早期事業化について、大分県市長会を通じて県に要望し、番匠川河口橋については、巨額の費用を要する大規模事業であり、費用対効果を考慮すると早期着工は難しい状況であるという回答をもらっている。

教育民生常任委員会行政視察報告

7月27日から29日までの3日間、青森県の市町へ行政視察を行いましたので、その概要を報告します。

●北津軽郡鶴田町では、「朝ごはん条例と食育の取組について」を視察しました。平成16年に朝ごはん条例を制定し、幼少期から米文化の定着と正しい食習慣の普及と健康増進を図っています。現在では、欠食児童生徒数、肥満児割合、塩分摂取量、野菜摂取量等が改善されているとのこと。全町挙げての取組が10年経過し、着実に効果が伴ってきたことについては、注目すべき点です。

●つがる市では「つがる市胃がん撲滅検診事業について」を視察しました。ピロリ菌感染検査とともに、除菌治療についても市が全額助成しており、本委員会でも非常に関心を持ったところです。また、大型ショッピングモール内に開設された市立図書館の視察も行いました。

●弘前市では、「子育て支援施策について」、その拠点である駅前地区再開発ビル内「駅前子ども広場」の見学を含め、視察しました。



▲再開発ビルに設置された弘前市駅前子ども広場



▲ショッピングモール内に開設された市立図書館

当施設は、大手前まちづくり交流館（仮称）内に設置予定の子育て支援施設のよい参考事例となりました。

経済産業常任委員会行政視察報告

7月26日から28日の3日間において、東京都大田区・港区・国土交通省・長野県富士見町の視察を行いました。

26日には、大田区の「在住外国人による魅力発信『来る国際都市おいた大使』の取り組みについて視察を行いました。大田区では、在住外国人を大使として任命し、各種イベントや大田区の魅力を発信していただき、SNS等を利用して各方面へ発信していく取り組みをしています。

佐伯市においても、少しの財源でマンパワーを活用しての佐伯市の魅力を発信・発信していくことは出来ないか調査しました。

27日には、長野県富士見町の「富士見未来プロジェクト」の取り組みについて視察を行いました。農業人口の減少や耕作放棄地の増加にどう解消しているのかについて視察を行いました。富士見町の取り組みとしては、行政が農地（遊休農地）の取りまとめを行い、JAと農家との連携を支援しつつ農業法人への支援も行い、現在では年間雇用は65人までとなっています。

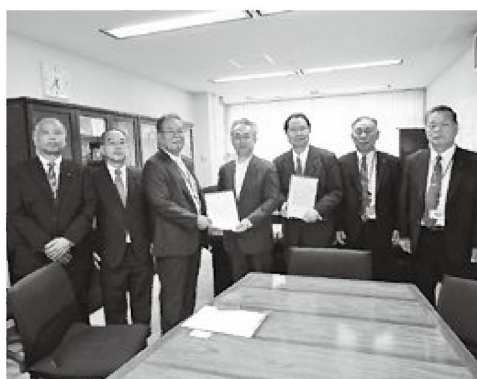
佐伯市においても同様の課題があり、今後、農業法人の育成や新規就農者の育成に取り組む必要があると

思われます。また、農業振興公社を中心とした取り組みを模索していくべきと感じました。

同日の午後には、衛藤代議士の紹介により、国土交通省港湾局長の菊地身智雄氏を訪問し、先の女島埠頭の整備のお願いに対し、早速、調査費を予算化していただいたことへのお礼と今後の事業推進の要望を行いました。

28日には、東京都港区の「港区観光プロモーション」の取り組みについて視察を行いました。都市部としての港区では、歴史的なつながり等を利用しての地方との連携や、留学生等を活用してSNSを利用しての魅力発信等を行っているとのことでした。

今後、佐伯市の魅力をどう発信させていくのか参考になりました。



▲国土交通省港湾局長への要望活動の様子

第69回 大分県民体育大会

第69回大分県民体育大会が中津市・豊後高田市・宇佐市の県北を主会場に開催されました。

佐伯市議会選手は2種目の競技に出場し活躍しました。陸上競技の議員・教委4×100mリレーで2位、議員100mで6位の成績でした。議員ソフトボールでは2回戦で敗退しましたが、応援の議員も一生懸命声援を送っていました。



議員ソフトボール ベスト8

宇佐市総合運動場野球場で9月10日、議員ソフトボールが開催され、2回戦で惜敗しました。

- 【1試合目】 佐伯市22-2日田市
- 【2試合目】 佐伯市5-6玖珠郡

宮脇保芳監督は、「1試合目は点を取りすぎたので最後は、疲れが出たのかな」と語っていました。

闘いの記録



チーム	1	2	3	4	5
佐伯市	4	10	24	2	
日田市	2	0	0	0	0

9月11日、大分銀行ドームで陸上競技が開催されました。

【400mリレー】 惜しくも2位！

- 第1走 富松万平
- 第2走 吉良栄三
- 第3走 後藤勇人
- 第4走 清田哲也

【100m】 6位
高司政文

井野上 準 監督は、「前日にソフトボールを2試合しましたので疲れがありました、よく健闘しました。」と語っていました。

激走の記録



400mリレー 堂々の2位!!

決勝		
1	1235 神田 岳委	日田市
2	1432 小野順一	豊後大野市
3	1330 鷺司 英彰	竹田市
4	1030 高司 政文	佐伯市
5	430 阿部 真一	別府市
6	835 松木 大輔	大分市
7	734 山下 大輔	国東市・東郡
8	1131 高野 幹也	津久見市
9	DNS 1535 居川 太城	日田市



土地開発公社の運営及び 市有地貸付けに関する 調査特別委員会の設置

委員長に宮脇保芳委員

副委員長に浅利美知子委員を選任

本誌7ページの一般質問表に掲載のとおり、9月6日、清家好文議員が「土地開発公社と青果卸売市場について」また、9月9日、三浦渉議員が「佐伯市土地開発公社について」の一般質問を行いました。

2人の質問に関連して、議会運営委員会の中で、執行部の答弁には疑義があり、執行部の詳細説明を求めたいとの意見が出され、全員協議会を開催することを決定しました。

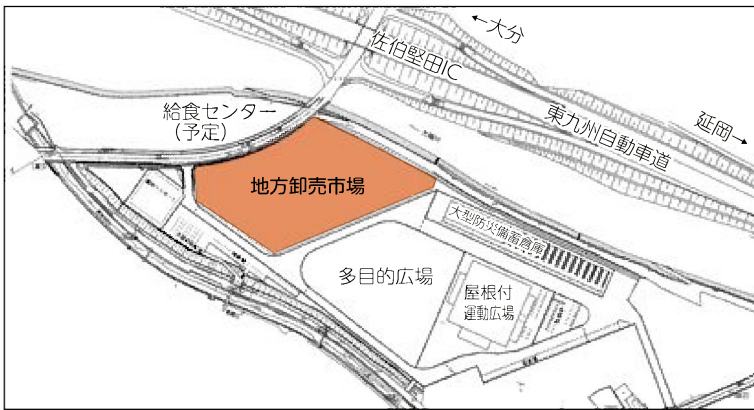
9月15日に開催された全員協議会では、執行部の説明に対し、多くの議員から質疑が出されました。

今後の調査については、常任委員会の所管事務調査ではなく、特別委員会を設置して調査を行うことを同日決定しました。

定例会最終日の9月21日、本会議で土地開発公社の運営及び市有地貸付けに関する調査特別委員会の設置及び同特別委員の選任が行われました。

調査項目としては、調査第6号、佐伯青果卸売市場協同組合への市有地貸付けについて、調査第7号、門田地区工場用地売却に係る価格設定について、調査期限は調査終了までとすることも合わせて決定しました。

なお、同日、第1回特別委員会が開催され、互選により、委員長に宮脇保芳委員、副委員長に浅利美知子委員が選出されました。今後は執行部に各種資料の提出を求め、具体的な調査に着手していきます。



▲ 佐伯堅田IC付近に建設予定の地方卸売市場

12月定例会のお知らせ (予定)

- 〔11月〕 29日 (火) 開会
- 〔12月〕 6日 (火) 一般質問
- 7日 (水) 一般質問
- 8日 (木) 一般質問
- 9日 (金) 一般質問
- 13日 (火) 経済産業、教育民生常任委員会
- 14日 (水) 建設、総務常任委員会
- 15日 (木) 予算特別委員会
- 20日 (火) 閉会

※ぜひ傍聴にお越しください。



～西日本B-1グランプリin佐伯～

初の西日本大会が11月19日(土)・20日(日)に開催！私たちもPR動画の撮影に協力させていただきました。みなさん一緒に佐伯のまちを盛り上げていきましょう！

詳しくは で検索！

編集後記

大分県民体育大会議員ソフトボール大会が9月10日に開催されました。1回戦は日田市との試合でした。22対2で圧勝しましたが、私にとっては大変な試合でした。打つだけならいいのですが、打順が何回もまわってくるのでその都度アウトにならないよう全力疾走で塁に向かって走らなければなりません。ところが残念なことに真剣に走っているつもりでも前に進まないのです。選手の議員さんから「本当に走っているの？」と問われるほど滑稽に見えたのかもしれない。後で自分でも、苦笑いしてしまいました。2回戦は玖珠郡に5対6でサヨナラ負けしましたが、素晴らしい試合でした。

選手のみなさんご苦労様でした。同時に自分の脚力の低下を痛感した1日でした。

広報委員 御手洗 秀光



本会議及び委員会審査の様子はインターネットで録画映像を配信しています。佐伯市議会のホームページからご覧ください。